

平等な協力

今日、私については、あまり話しません。

大切な人や事が多いですが、行動について話したいです。

友人や他人の生活において、しばしば考えています。人は賢いですが、何も知らないで、人生は短くて、感覚を誤りやすいです。一人では、度々間違えます。でも、協力すると、人々はいいことができます。例えば、現代は協力で、技術や研究が速く進みます。数時間で世界一周ができます。昔と比較して生活は楽です。

それなら、幸せな人がいるはずですが、苦勞して困る人の方が多いのは、どうしてでしょうか。この質問について、よく考えています。

簡単な答えはないですが、人は他人を同等と思わないからかもしれません。他人を本当に敬っているなら、どうして世界の過激な不均衡が看過されるんですか。

私は他人と共存だけではなくて共生して生きなければならないと伝えたいです。

他人に対して友愛の態度を示すことが必要だと思います。人生は他人との競争ではないので協力した方がいいと思います。一つの世界を分かち合って、平等な社会があったら、競争が減っていくかもしれません。

でも、今は、不均衡を許す社会に生きています。家を持っていない人、飢えのせいで死ぬ人がいる社会です。このシステムは正しくないと思います。協力したら、より良く出来ると思います。

もちろん、この理想は高いです。でも、世界は広くても、あらゆる個人の行動はこの世界を少し変えられます。間違った行動でも無意味ではありません。協力のおかげで、幸せな世界が築けるかもしれません。

いじょうです。スピーチを聞いていただきありがとうございました

長沢さんやキムさん、お世話になって、感謝します。